

2024年9月5日の小惑星2024 RW1 (CAQTDL2)に由来する火球。(関口孝志)
2024年9月5日の小惑星2024 RW1 (CAQTDL2)に由来する火球。小惑星2024 RW1は、9月の水がめ群と軌道がそっくりです。ただし、IAUの輻射点リストからは、DSH判定はあるものの、2016年に密度が少ないとして除外されています。この火球と類似と思われる同時流星を9月1/2日から6/7日までの同時流星から15個見つけました。9月の水がめ群と軌道がよく似ているAグループとやや高緯のBグループと ω とnodeが180度違うもののCグループがありそうです。これらは、9月の水がめ群のようですが、今回の小惑星と関連していると思われます。DSH判定でも近いことがわかります。SAQ群は、8月31日が極大のようです。Cグループの母天体候補は、小惑星2022BM2です。2つの小惑星は、軌道がよく似ています。CM2タイプの炭素質コンドライト型天体であった可能性が指摘されています。